



### ドライブバーに 安全運転訴え

渡辺組

【北見】渡辺組（本社・遠軽）は25日、湧別支社前の国道242号沿いで交通安全の街頭啓発をし、渡辺博行社長らが、

道行くドライブバーに啓発グッズを手渡して安全運転を求めた。写真。

2007年から毎年、春と秋の全国交通安全運動に呼応して実施している。

参加した約50人に渡辺社長は「毎日約300台の車両を動かす企業。24時間安全運転に取り組まなければならない」と、率先した事故防止への注意を呼び掛けた。

早めのライト点灯や飲

酒運転禁止と書かれた安全旗を持って整列し、遠軽警察署の協力で通行車両を誘導。同社が作ったパンフレットなどの啓発グッズに地元産ジャガイモを入れた100袋を手渡した。

### 渡辺組が交通安全街頭啓発

### 事故撲滅願い熱心に活動

グッズ等配布し協力を呼びかけ

【網走発】タヌ、飲酒運転ノ。 (株)渡辺組 (遠軽、渡辺博行社長) は二十五日、国道二四二号沿いの湧別支社前で交通安全街頭啓

発を実施。道行くドライバーに交通安全グッズを配布しながら、地域からの交通事故撲滅を呼びかけた。同社は、夏と秋の全国交通安全運動に合わせて、平成十九年から街頭啓発に取り組んでいる。こと

して九年目、十八回目を迎えた活動には、同社と(株)渡辺興業 (高橋省哉社長) の役員や作業員ら四十人が参加した。



冒頭、渡辺社長があいさつ。「勤務中の安全運転はもとより、勤務時間外においても無事故に努めなければならぬ」と呼びかけた。また、応援に駆けつけた遠軽警察署の大島貞夫署長は、同社の取組を高く評価した上で、「地域に広く交通安全意識を浸透させることが大切」などとアドバ

イスした。

活動に当たっては、遠軽署の警察官が通行車両を路肩に誘導。渡辺社長や高橋社長、大島署長らが、同社で作成したリーフレット「交通安全ニュース」と地元産のタマネギとジャガイモを詰め合わせた交通安全グッズ百セットを配布。「安全運転に協力をお願いします」などと声をかけ、交通事故撲滅を訴えた「写真」。このほか、参加者全員が国道沿いに整列。早めのライト点灯、シートベルト着用の徹底を訴える横断幕や、早めのライト点灯、高齢者と子どもを事故から守るなどと書かれたのぼりを手には、交通安全を啓発した。